

島津胃集検用I.I.間接撮影台A0-15、A0-20は X線管装置、I.I.、X-TVカメラ、I.I.スポットカメラ、およびX線高電圧発生装置と組み合わせ、I.I.間接撮影法によって有効な胃の集団検診を低被ばく線量で能率よく行うことのできる遠隔操作式のI.I.間接撮影台で、自動車積載形または室内据置形として使用していただくことができます。

能率のよい検診が行える

オーバテーブルチューブ方式

A0-15

●検診能率が向上します。

- X線管焦点-天板表面間距離が89cmと大きいので、圧迫筒の操作や、被検者の透視撮影台への乗り降りや体位の変換が容易です。
- 自動運転コントローラ（特別付属品）を使用することにより検診能率が向上します。
- 天板ローリングの回転中心が被検者体軸のほぼ中心、（天板表面から11cm）にありますので、ローリングによる被検部分の照射野内でのずれが少なく、検診能率が向上します。
- 天板高さは97cmと低く、被検者に不安感を与えません。また臥位での被検者の監視が容易です。

